



肝胆膵外科手術の最前線

—ロボット支援・腹腔鏡手術から血管再建を伴う拡大手術まで—

【外来診療日】 火曜日 午前・午後

◎はじめに

当科では、肝臓・胆道・膵臓疾患に関するあらゆる良性・悪性疾患に対し、患者様一人ひとりの病態と生活背景に応じたオーダーメイド治療を提供しています。近年導入が加速するロボット支援・腹腔鏡下手術を積極的に採用するとともに、血管合併切除・再建を伴う拡大手術まで幅広く対応できる体制を整えている点が大きな特色です。本稿では、当科の特色と手術実績をご紹介します。

1. 腹腔鏡下胆嚢摘出術のハイボリュームセンター

当科では年間約200例の腹腔鏡下胆嚢摘出術を行っています（図1）。

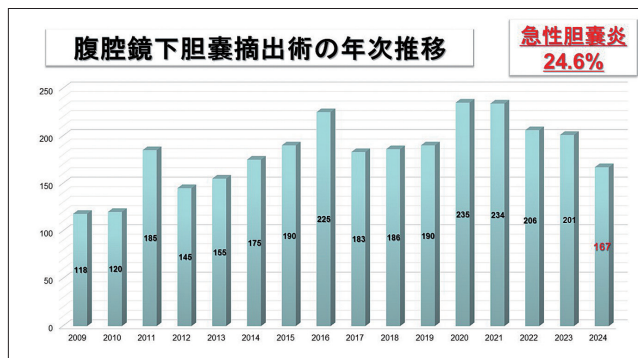


図1：腹腔鏡下胆嚢摘出術の年次推移

そのうち25%は急性胆嚢炎に対する早期手術であり、この領域について国内外に良好な手術成績を報告してきました。一般的に急性胆嚢炎に対し胆嚢ドレナージを先行し、数か月後に待機手術を実施する方法が行われますが、この間、患者様は数か月間も胆嚢ドレナージチューブを

留置したまま生活を余儀なくされ、QOLが著しく低下します。これに対し、当科では発症早期の手術を標準化することで、おおむね1週間以内の退院・社会復帰を目指しています。すなわち、急性胆嚢炎に対して早期手術を行うことによりQOLの改善が期待できます。さらに、胆嚢ポリープなど炎症を伴わない良性胆嚢疾患に対しては、整容性に優れ傷が目立ちにくい単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術も導入しております。ご希望の患者様がいらっしゃいましたらご紹介ください。

2. 慢性膵炎に対する膵管ドレナージ手術（Frey手術）の実績

慢性膵炎の患者様には、膵石に起因する難治性の腹痛・背部痛に長く悩まれる方が少なくありません。通常は内視鏡ステント治療を行いますが、頻回の入退院や炎症再燃によりコントロールに難渋する患者様も多くみられます。そのような患者様に対し、当科では膵管ドレナージ手術（Frey手術）を積極的に行っています（図2）。

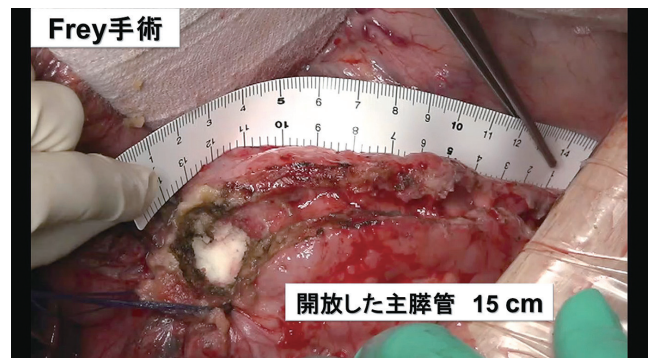


図2：Frey手術 主膵管解放場面

2025年7月現在で74例を経験しており、術後は全例で疼痛症状の改善を認め、内視鏡治療の再介入率は初期に行った2例（2.7%）のみと良好な治療成績を得ています。術後のQOL向上は明確で、患者様からも高い評価をいただいている術式です。慢性膵炎でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

3. ロボット支援下・腹腔鏡手術の積極的展開

当科では多くの肝胆膵外科手術を腹腔鏡下で行っておりますが、特に2024年3月からダヴィンチXiを用いたロボット支援下肝胆膵外科手術を導入しました（図3）。

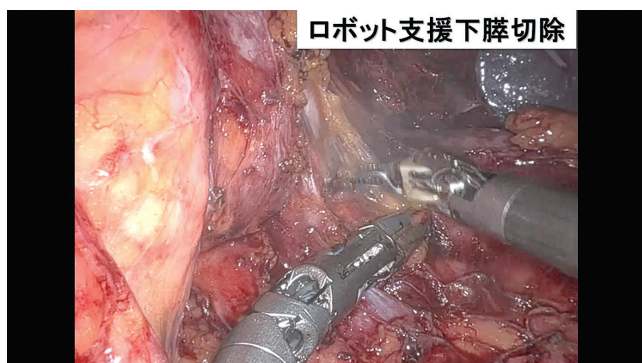


図3：ロボット支援下膵切除

2025年7月現在までに肝臓切除14例、膵臓切除10例を経験し、ダヴィンチ肝膵手術のプロクター（指導医）資格も取得済みです。今後は症例選択を慎重に行いながら適応をさらに拡大し、より低侵襲で安全な肝胆膵外科手術の提供に取り組んで参ります。

4. 高難度肝胆膵手術と膵癌に対するオーダーメイド治療

当院は日本肝胆膵外科学会が認定する高度技能専門医修練施設であり、手術難度の高い肝胆膵外科手術を規定数以上、安全に実施しております。昨年は高難度手術47例を含む肝胆膵外科手術84例を施行しました（図4）。特に膵癌の患者様は年々増加傾向にあり、長期成績の改善を目指して化学療法・放射線治療・外科治療を

組み合わせた、個々の患者様に最適化したオーダーメイド治療戦略を立案、実施しています。進行膵癌に対する血管合併切除にも積極的に取り組んでおり、その安全性についてもこれまで報告して参りました（図5）。このように膵癌患者さんに対しては外科・内科・放射線科が緊密に連携し、迅速かつ一貫した診療体制で臨んでおります。患者様のご紹介を心よりお待ちしております。

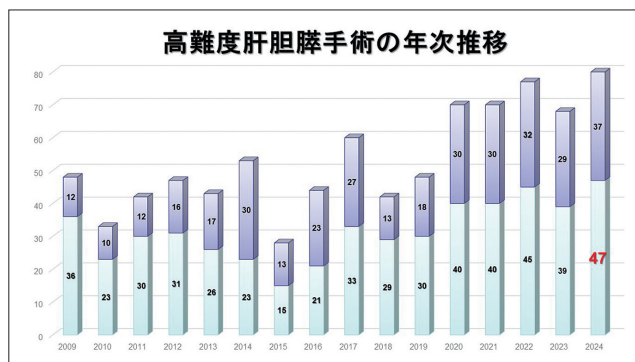


図4：高難度肝胆膵手術の年次推移

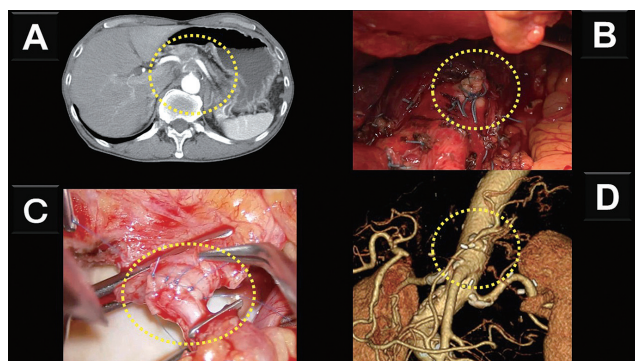


図5：高度進行膵癌に対する腹腔動脈合併切除を伴う膵切除。
 A：術前CT画像：腹腔動脈浸潤を認める。
 B：腹腔動脈合併切除の術中写真。
 C：顕微鏡下左胃動脈・中結腸動脈吻合。
 D：術後3D-angio：良好な胃動脈血流を認める。

◎おわりに

以上、肝胆膵外科グループの特色と実績をご紹介しました。患者様にとって最適な治療法を、病院全体で丁寧に検討し、術後は速やかな逆紹介と情報共有を徹底いたします。先生方との連携を大切に、質の高い肝胆膵外科医療の提供に今後努めてまいります。

診療のご予約は・・・

病診連携部門あてに「診察・検査FAX予約申込書」をお送り下さい。

病診連携連絡先

病診連携部門

TEL: 03-3481-7385 FAX: 03-3468-6191



東邦大学
医療センター | 大橋病院
Toho University Ohashi Medical Center

〒153-8515 東京都目黒区大橋2-22-36 電話 03-3468-1251
<https://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>

